

【三重河川国道】堤防模型で河川の勉強！（学習支援）

平成25年9月9日、橿田川で「豊原堤防補強工事」を施工する松本組(松阪市嬉野町)は松阪市立掃水小学校で、「河川堤防のはたらき・川のしくみと流れ方」を教える学習支援を行いました。

学習支援では、ビデオ学習、堤防模型を使って水を流す実験やペットボトルで石や土の積み方や水の通し方実験を行い、5年生30人がダムや堤防、川の仕組みについて学びました。

参加した児童の皆さんは、「橿田川が氾濫したら怖いです」などと話し、水の流れの仕組みや水害を防ぐための工事の役割などについて理解を深めていました。

学習支援の様子

水谷さん(監理技術者)の説明



授業の様子



ビデオ学習



実験用の堤防模型です



水の流れ方と砂のたまり方を予想します



取材機関

夕刊三重
建通新聞

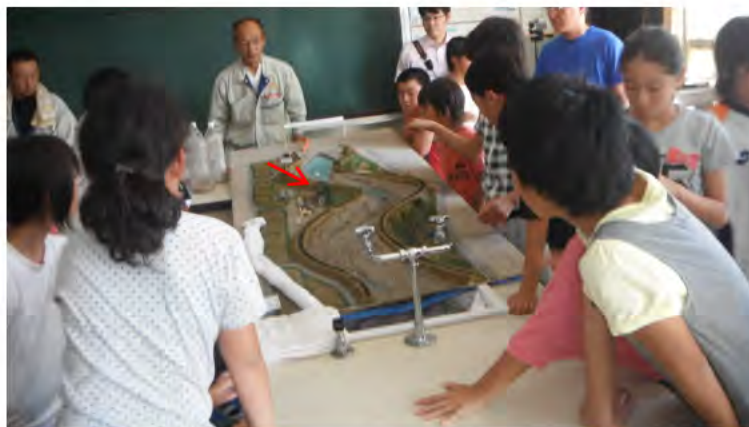
【三重河川国道】堤防模型で河川の勉強！（学習支援）

学習支援の様子

模型の川の中に砂を入れます



模型の川に水を流しました



土のたい積のしかたの実験です

水のとおり方を考える実験です

先生の説明



ペットボトルに土と水を入れ、土が水の中でどういう風に積もっていくか観察します。



底をカットし、ネットを入れたペットボトルの中に4種類の土（碎石、砂利、砂、土）を入れて、水の通りやすさを実験します。ストップウォッチで時間を計り、水の落ちる速さを確認します。